

## 安全上のご注意

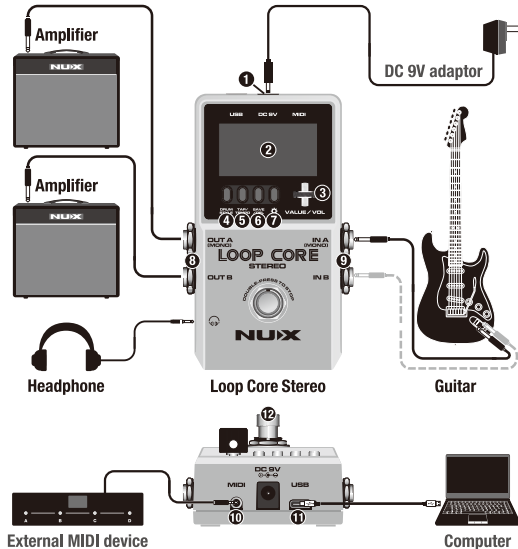
- 表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。
- 本機の裏ぶたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- 本機は湿気が多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。
- 長い時間使用しない場合は接続を外してください。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品は FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠しています。このため本製品の操作を行う際には、以下の 2 つの条件に従います。
  - (1) 本機器が有害な電波障害の原因となる可能性はないこと。
  - (2) 不意な操作による電波障害を含む何らかの電波障害を本製品が受けた場合、それを受け入れなければならないこと。

本取扱説明書は大切に保管してください。

## はじめに

Loop Core Stereoは液晶ディスプレイ、ステレオ入出力、MIDIコントロール入力を備え、最大6時間のフレーズを作成し99個のメモリスロットに保存、再生可能なルーパーペダルです。50種類ドラムパターンを内蔵。ヘッドフォン端子も搭載しているのでギターとヘッドフォンを接続するだけで簡単に練習も可能です。

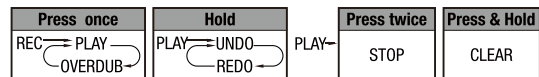
## 各部の機能と名称



1 Power jack	5 TAP / TEMPO button	9 INPUT jacks
2 TFT LCD	6 SAVE / DEL button	10 MIDI OUT / IN
3 VALUE / VOL knob	7 SETTING button	11 USB port
4 DRUM STYLE button	8 OUTPUT jacks	12 Footswitch

### 基本的な使い方

ペダルにパワーサプライ（アダプター）を接続し電源を入れます。VALUE/VOLノブを回して01~99の中から空きメモリスロットを選択します。空きスロットはスロット番号が白色で表示され、保存されているスロットは赤色で表示されます。フットスイッチを押して録音/再生/オーバーダビングを行います。フットスイッチで下記の操作が可能です。



### VALUE / VOL knob

回してメモリスロットを選択します。  
ノブを1回押すとループボリューム、2回押すとドラムボリュームの調整画面に移動します。ノブを回して各音量を調整してください。他のボタンを押すか5秒間操作されないと通常画面に戻ります。

### DRUM STYLE button

短押しでドラムのON/OFFを切り替えます。  
長押しでドラムスタイル切り替え画面へ移動し、VALUEノブを回してドラムスタイルを選択します。  
VALUEノブを短押ししてからノブを回す事で拍子（4/4 or 3/4）を変更する事もできます。VALUEノブをもう一度押すとドラムスタイル選択へ戻ります。DRUM STYLE buttonをもう一度押すか10秒間操作されないと通常画面に戻ります。\*すでに保存されているスロットでは拍子の変更はできません。

### TAP / TEMPO button

2回以上の短押しでタップテンポでドラムの速度を設定します。  
長押しでテンポ設定画面へ移動します。VALUEノブを回してテンポを変更。VALUEノブを短押ししてからノブを回す事で拍子（4/4 or 3/4）を変更する事もできます。VALUEノブをもう一度押すとテンポ設定へ戻ります。  
ボタンの短押しか10秒間操作されないと通常画面に戻ります。  
\*すでに保存されているスロットではテンポ、拍子の変更はできません。  
\*ドラムがOFFの状態ではテンポの設定を始めるとドラムがONになります。

### SAVE / DEL button

短押しでSAVE（保存）画面へ移動します。VALUEノブを回して保存したいスロットを選択、もう一度SAVEボタンを押して保存します。  
消したいスロットへ移動してボタンを長押しするとDELETE（削除）画面へ移動します。もう一度ボタンを押すと削除されます。  
\*録音されていない状態ではSAVE画面へ移動できません。

### SETTING button

短押しで設定画面へ移動します。もう一度押すと通常画面に戻ります。VALUEノブを回して選択、VALUEノブを押して決定します。もう一度SETTINGボタンを押すと設定画面トップに戻ります。  
DISP: 画面の明るさと起動時の画面に自分で用意した画像を使用するかどうかを設定します。用意した画像を使用するときはUSERを選択します。  
REC: RECモードを選択します。INSTANT（フットスイッチを押すとすぐに録音開始）、DETECTING（フットスイッチを押した後、信号の入力が有ると自動的に録音開始）、PRE-BEAT（フットスイッチを押すとカウントが始まりカウント後に録音開始）から選択します。  
DUB: DUBモードを選択します。REC→PLAY→DUB（出荷時）、REC→DUB→PLAYから選択します。  
STOP: STOPモードを選択します。IMMEDIATE（フットスイッチ2回押すとすぐに停止）、ONE SHOT（操作無しでPLAY1周で停止）、LOOP END（フットスイッチを2回押してからフレーズの最後まで再生してから停止）、FADE OUT（フットスイッチ2回押してからゆっくりとフェードアウトして停止）から選択します。  
PATH(AUDIO PATH): 入出力の設定を変更します。詳細は裏面の接続例をご確認ください。  
HEADPHONES: ヘッドフォンの音量を調整します。  
RESET: 設定を工場出荷時に戻します。スロットに保存されたデータも全て消去されます。

### DC power Jack

9V、センターマイナス、150mA以上のパワーサプライ(ACアダプター)を接続します。  
消費電流は120mA以下ですが、150mA以上を推奨します。

### USB-C port

PCにUSB-Cケーブル（別売）で接続し、音声データのインポート/エクスポート、起動画面の設定、ファームウェアのアップデートが有った際に使用します。

### PC接続に関して

PCに接続するとLoop Core StereoはUSBフラッシュディスクとして認識されます。（PCにはドライブとして認識されます。）  
起動画面の変更: NUX LOOPER→NCL-2フォルダ→GIFフォルダにGIFファイルを保存する事で起動画面に表示する事ができます。この時DISP設定はUSERを選択します。  
サイズに制限があり、大きすぎると設定できません。（320x170 pixels、Max 8 seconds、Max size 1MB）  
\*保存するGIFファイルは1ファイルのみにしてください。（出荷時に入っているUSERGIF.GIFも削除してください。）  
音声ファイルのインポート/エクスポート: NUX LOOPER→NCL-2フォルダ→WAVEフォルダに各スロットの音声データが保存されています。こちらを保存する事で作成したフレーズループをPCで保存する事ができます。また、WAVデータをフォルダに保存してペダルで再生する事も可能です。  
\* Loop Core Stereoは、44.1kHz/32 bits Stereo floating WAV formatのみを使用できます。それ以外のデータは再生できません。  
Loop Core Stereo製品ページ (<https://www.nuxaudio.com/loopcorestereo.html>) からダウンロードできるNUX Audio Format Converter (Mac or Windows) ソフトウェアを使用して音声データを条件に合ったWAVファイルに変換してください。

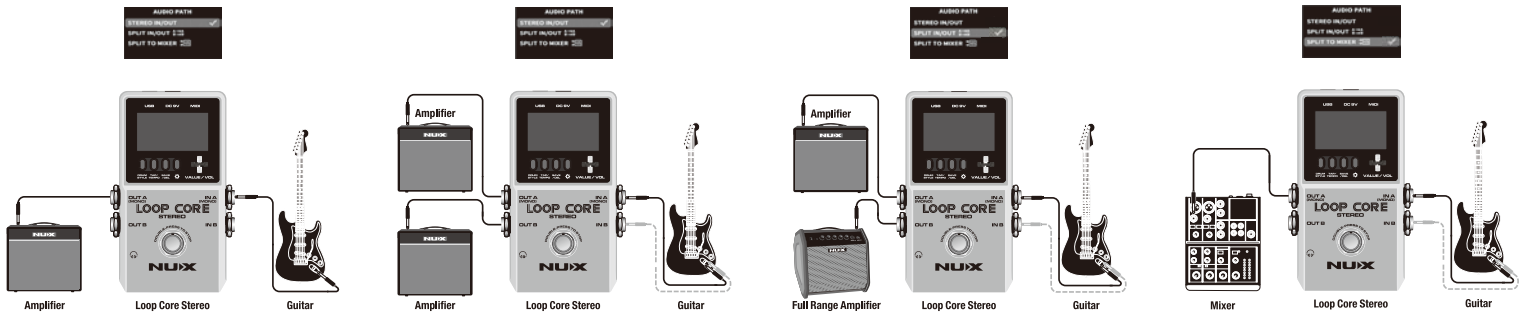
### ファームウェアの更新

機能の追加/修正等を行う為、ファームウェアを更新することがあります。最新のファームウェア情報は製品HPをご確認ください。  
購入日より新しいデータが更新されている場合は、下記手順で更新してください。NUX HP (<https://www.nuxaudio.com/loopcorestereo.html>) 製品ページ最下部から、"Loop Core Stereo Firmware (Mac or Windows)"をダウンロードします。ダウンロードしたファイルは圧縮されていますので解凍してください。

ダウンロードしたフォルダ内の「MIDI\_DFU\_Updater」を起動します。

PCとペダルをUSBケーブル（別売）で接続し、フットスイッチとDRUM STYLEボタンを同時に押しながらACアダプターを接続します。ペダルのディスプレイに「FIRMWARE UPDATE START READY!」と表示されます。  
MIDI\_DFU\_Updaterのrefreshボタンを押しMIDI Device Out / inに「MIDI DFU」と表示されるのを確認してください。file ...ボタンをクリックし、ダウンロードし解凍したフォルダ内のBIN ファイル（～.bin）を開きます。（下部に「This is a binary file」と表示されますが問題ありません。）「Start Update」をクリックし、アップデートを開始します。  
プログレスバーが100%となり、ペダルのディスプレイに「UPDATE OK!」の表示が出たらアップデートは完了です。MIDI\_DFU\_Updaterを終了し、ペダルのACアダプターを一旦抜いてください。

## 接続例



**1. モノラル入力/モノラル出力**  
IN A (MONO)にギター、OUT A (MONO)にアンプを接続する最も一般的な接続。AUDIO PATH 設定は「STEREO IN/OUT」を選択します。

**2. ステレオ入力/ステレオ出力**  
4つのジャックを使用しステレオ入力、ステレオ出力する接続。AUDIO PATH 設定は「STEREO IN/OUT」を選択します。

**3. OUT A for guitar, OUT B for drum machine**  
OUT A からギター信号とフレーズループ、OUT Bからドラムマシン信号を出力します。AUDIO PATH 設定は「SPLIT IN/OUT」を選択します。

**4. OUT A & B to a mixer**  
OUT A / B 共にミキサーへ接続します。OUT A からギター信号とフレーズループ、OUT Bからドラムマシン信号を出力します。ミキサーで2つのサウンドを個別に調整、ミックスが可能です。さらに、OUT Aからより良い信号を得るための周波数補正機能が含まれています。AUDIO PATH 設定は「SPLIT TO MIXER」を選択します。

※ 接続例3、4に関して  
IN Bに信号を入力するとIN Bからの入力はOUT Bから出力されます。また、IN Bからの入力は録音されません。シンプルに楽器とリズムマシンを分けて出力したい場合モノラル入力（入力側はIN Aのみを使用）をお勧めします。

## MIDI Control

MIDIコントローラーなどのMIDIデバイスをLoop Core StereoのMIDIジャック(1/8")に接続する事でMIDIデバイスでペダルをコントロールすることができます。各機能の割り当ては表をご確認ください。

Command	MIDI CC (For all channel)
Track + (01-99)	cc number=40, value=01
Track - (01-99)	cc number=41, value=01
Track Play/Stop	cc number=42, value=00
Loop Rec	cc number=42, value=02
Loop Dub	cc number=42, value=03
Loop Undo	cc number=42, value=04
Loop Redo	cc number=42, value=05
Loop Clear	cc number=42, value=06
Loop Level +	cc number=43, value=0~127
Loop Level -	cc number=44, value=0~127
Drum Play/Stop	cc number=45, value=00
Tap Tempo	cc number=45, value=01
Tempo + (40-240)	cc number=46, value=1~127
Tempo - (40-240)	cc number=47, value=1~127
Beat Switch (4/4, 3/4, Shuffle)	cc number=48, value=01
Drum Style select +	cc number=49, value=01
Drum Style select -	cc number=50, value=01
Drum Level +	cc number=51, value=0~127
Drum Level -	cc number=52, value=0~127
Save Data/comfirm	cc number=53, value=00
Save to memory number +	cc number=54, value=01
Save to memory number -	cc number=55, value=01
Delete Data/comfirm	cc number=53, value=01
Brightness +	cc number=56, value=01
Brightness -	cc number=57, value=01

Command	MIDI CC (For all channel)
REC mode: INSTANT	cc number=58, value=00
REC mode: DETECTING	cc number=58, value=01
REC mode: PRE-BEAT	cc number=58, value=02
DUB mode: DUB & PLAYBACK	cc number=59, value=00
DUB mode: HIT TWICE TO DUB	cc number=59, value=01
STOP mode: NORMAL	cc number=60, value=00
STOP mode: ONE SHOT	cc number=60, value=01
STOP mode: FINE STOP	cc number=60, value=02
STOP mode: FADE OUT	cc number=60, value=03

## 製品仕様

Sampling Frequency: 44.1KHz  
AD converter: 24bit  
Signal Processing: 32bit  
Frequency response: 20Hz-20KHz  
Noise Level: -100dBu  
Dynamic Range: 108dB  
Power Consumption: 110mA-120mA  
Input: Mono, Stereo  
Output: Mono, Stereo, Phones  
Display: TFT color LCD display  
Power: 9V negative tip power adapter  
Dimensions: 122mm(L)\*72mm(W)\*48mm(H)  
Weight : 264g

付属品: 取扱説明書 (本紙)

※ 仕様は予告なく変更となる場合があります。

www.nuxefx.com  
Made in China

## 保証・その他

■万一、保証期間内(お買い上げ1年以内)に製造上の不備に起因する故障の生じた場合は、お買い上げ店を通じ弊社にこの保証書を添えてお申付け下さい

■必要事項が明記されていない場合は保証が実行されない場合がございますので注意下さい。なお、本書は再発行しませんので大切に保存していただけますようお願い申し上げます。

### 免責事項について

下記の場合は保証の対象とならず、有償修理となりますのでご注意ください。

- 1) 本保証書がない場合、また、記載内容に不備がある場合
- 2) 取扱説明書に記載された内容以外の原因により不備が発生した場合
- 3) お買い上げ後の使用上の誤り、改造、輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
- 4) 火災、地震、水害、落雷などの想定外の災害などによる故障及び損傷
- 5) 消耗品の交換
- 6) 日本国内以外での使用

- 保証書に記載されている保証がすべてであり、この保証の外は、明示の保証・黙示の保証を含め、一切保証しません。
- この取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 接続機器との組み合わせによる誤作動などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- この取扱説明書につきましては、万が一不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本製品およびこの取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。